

リンクト・データ

リンクト・データ統合プロファイルを設定するには、次の役職が必要です：

- 統括システム管理者

リンクト・データは、Web上で構造化されたデータを公開および相互接続するのに最も優れた方法のひとつです。Almaは、リンクト・データをJSON-LDフォーマットで公開するRESTful APIを実装します。リンクされたデータ統合プロファイルの構成については、以下を参照してください。

Note

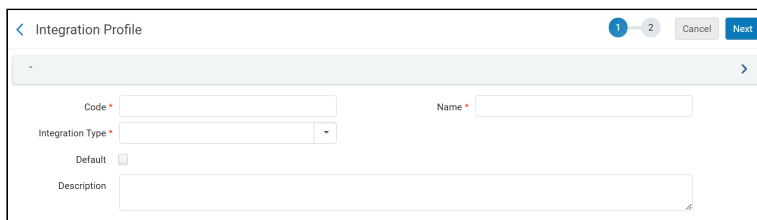
- リンクデータAPIはデフォルトで本番環境に適用されます。サンドボックス環境で実行するには、`?env=sandbox`を追加します。
- RDA/RDFのフォーマットで書誌レコードをエクスポートするには、リンクデータ統合プロファイルが有効である必要があります。プロファイルが無効の場合、このフォーマットでのジョブは失敗します。

こちらも参照：

- 実装用 情報については、Ex Libris DeveloperNetworkで https://developers.exlibrisgroup.com/alma/integrations/linked_data を参照してください。
- リポジトリの検索結果からアクセスされたリンクト・データに関する情報については、[リポジトリ検索結果からのリンクト・データ](#)を参照してください。
- MetaDataエディタの[リンク済みデータ]タブからアクセスされるリンク済みデータに関する情報については、[書誌レコードの操作中にリンク済みデータを使用する](#)を参照してください。

機関のリンクト・データ統合プロファイルを設定するには：

1. 統合プロファイルリストページ（設定メニュー>一般>外部システム>統合プロファイル）で、統合プロファイルを追加を選択します。統合プロファイルの追加のページ1 ウィザードが表示されます。



2. 新しい統合タイプに固有のコードを入力します。
3. 新しい統合タイプの固有の名前を入力します。
4. 「統合タイプ」で「リンクされたデータ」を選択します。

5. 次を選択します。ウィザードのページ2が表示されます。



PARAMETERS

Active

Alternative Context URL

Base URL

Make sure the domain is registered to the same IP address as your Alma

リンクト・データプロファイルの設定 (ページ2)

6. ウィザードの2ページ目で、次のフィールドを指定します：

- アクティブ - 選択してプロファイルを有効にします。
- 代替属性URL — デフォルトの属性、を使用するには、ここは空白のままにします。
cname.alma.exlibrisgroup.com/format/works_or_instances/MMSID.例：bgu.alma.exlibrisgroup.com/bf/instances/9922819700121別の属性対象を使用したい場合は、ここにそのURLを入力します。JSON-LDの **@context** フィールドは、この属性対象を参照します。
- ベースURL - ユーザーは、JSON-LD 出力だけでなく、BIBFRAME を含む URL で生成されたすべてのレコードの URL プレフィックスを変更できるようになります。

7. 保存を選択します。